

第6回 愛西市立小中学校適正規模等検討協議会

日時：平成28年6月17日（金）

午前10時から

場所：愛西市役所 北館3階

災害対策本部兼会議室1・2

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 題

（1）適正化に向けた具体的な方策

① 適正規模について

適正規模（12～18学級）に近づける。最小でも各小中学校ともに6学級以上（小：各学年1学級以上、中：各学年2学級以上）、1学級18人以上、全校の児童生徒数約110人以上に留意しながら実現を目指す。

・ 立田・八開地区

（1案）立田南部小（福原分校を含む）、立田北部小、開治小、八輪小を統合する。

（H33：15学級、452人）

立田中と八開中を統合する。（H33：9学級、281人）

（2案）立田南部小（福原分校を含む）、立田北部小を統合する。

（H33：11学級、289人）

開治小、八輪小を統合する。（H33：6学級、163人）

立田中と八開中を現状のままとする。

（3案）立田南部小（福原分校を含む）、立田北部小を統合する。

（H33：11学級、289人）

開治小、八輪小を統合する。（H33：6学級、163人）

立田中と八開中を統合する。（H33：9学級、281人）

・ 佐屋地区、佐織地区

将来の児童生徒数の動向を注視しながら対応

② 適正配置（通学条件）等について

- ・ 基本的に適正規模を目標
- ・ 小学校区は、地域コミュニティに配慮
- ・ 中学校区は、小中一貫教育を導入
- ・ 統合後、通学距離が小学校4km以上、中学校6km以上になる場合スクールバス等の利用

（1案）立田南部小（福原分校を含む）、立田北部小、開治小、八輪小を統合した新設校は、立田地区と八開地区の中間地点に建設する。

立田中と八開中を統合した新設校は、立田地区と八開地区の中間地点に建設する。

＊ 隣接する小中学校は、一貫教育を進める。また、複合化を検討する。

(2案) 立田南部小(福原分校を含む)、立田北部小を統合した新設校は、立田中の隣接地に建設する。

開治小、八輪小を統合した新設校は、八開中の隣接地に建設する。

立田中と八開中を現状のままとする。

＊ 隣接する小中学校は、一貫教育を進める。また、複合化を検討する。

(3案) 立田南部小(福原分校を含む)、立田北部小を統合した新設校は、現立田中に入る。

開治小、八輪小を統合した新設校は、現八開中に入る。

立田中と八開中を統合した新設校は、立田地区と八開地区の中間地点に建設する。

③ 適正配置を推進するために

- ・ 緊急性を考え、段階的に実施(児童生徒の学習・生活など教育効果を高める指導面、円滑な学校運営面を考慮)

(例) 各地区で学校の統廃合を進める場合	I 期: 八開地区	II 期: 立田地区
立田・八開地区をまたぐ統廃合の場合	I 期: 中学校	II 期: 小学校

- ・ 学校間連携による教育活動の推進
- ・ 通学路の安全対策や通学支援
- ・ 学校施設の整備
- ・ 指定学校の変更(弾力化) など

(2) 基本計画(素案)の骨子及び概要

＊ 別紙「愛西市小中学校適正規模等基本計画(素案)」参照

(3) 協議会の今後の取り組み

① 基本計画策定スケジュール

- ・ 第7回(7月) 基本計画(素案)の内容検討
- ・ 第8回(8月) 基本計画素案の策定、教育委員会へ提案

② その他

(4) 次回(第7回)協議会開催について

日 時: 平成28年7月 日() 時 分から 場所:

内 容: ・「基本計画(素案)」の内容検討
・その他

4. 閉 会